

荒川パーキングを活用した地域活性化【FSタイプ】（新潟県村上市）

1. 実験実施の背景

- ・高速道路利用者の休憩施設が乏しく、サービス水準が低い
- ・荒川胎内インターチェンジ以北は無料走行区間となっているため、道路利用者が高速道路へ転換し、地域の活性が低下
- ・道路の安全かつ快適なサービス及び地域の観光情報などを十分に提供できていない

2. 調査項目

- ①取組の“お試し”実施
- ②有効な取組イメージの具体化

3. 検討内容

【実験地域】 日本海沿岸東北自動車道 荒川パーキングエリア

【実験内容】

荒川パーキング内で試験的にサービスを提供する環境を構築し、利用者に対するアンケートによる意向聴取と荒川パーキングへの交通量及び立寄率等の測定などにより実施

- ① 下り線では、観光コンシェルジェや村上茶によるおもてなしにより、高速道路利用者の休憩場所の提供及び村上地域全体の観光資源をPR
- ② 上り線では、移動販売車を設置し、お土産品などを売り込み地域の活性を図る
- ③ パーキング周辺の環境美化活動（除草作業、ごみ拾い）を実施
- ④ 官民学連携のワークショップを開催し、活性化案を検討

【実施期間】 平成29年10月2日（月）～平成30年3月31日（土）

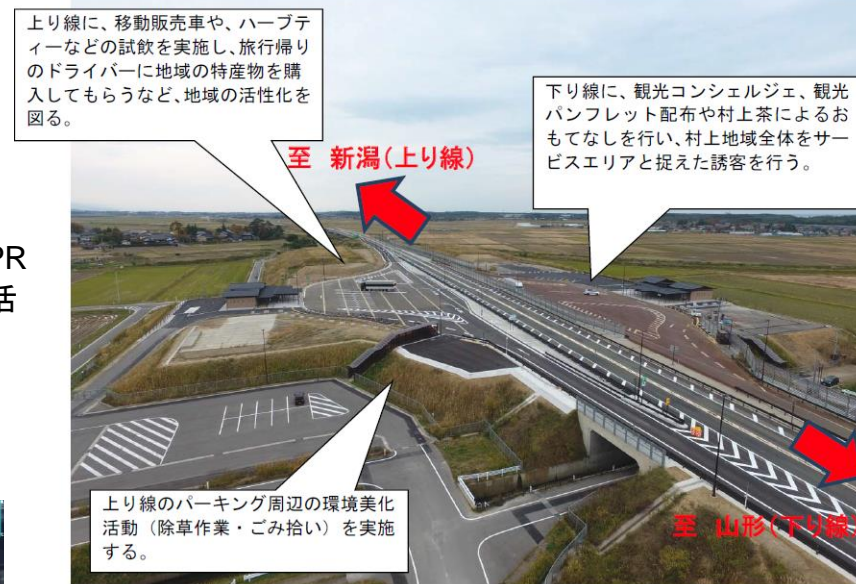


図-1 位置図、実験概要図



図-2 物販施設の状況



図-3 観光コンシェルジェの実施状況

4. 検討結果

①荒川パーキングの利用状況

- ・実験期間中は**利用者、立寄率**が増加している傾向あり
- ・利用者は10～11時台、14時台にピーク
- ・立寄率の増加の割合は、上り側、下り側で同程度

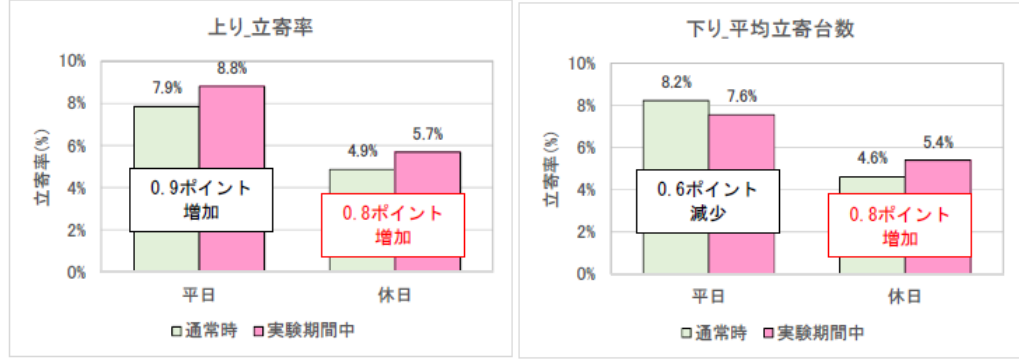


図-4 立寄率の比較

②サービス提供の有効性

- ・利用者の満足度が高い取り組み(休憩施設、観光コンシェルジェ)がある一方で、実施期間の短い取り組み(移動販売車)は、満足度が低くなる傾向あり

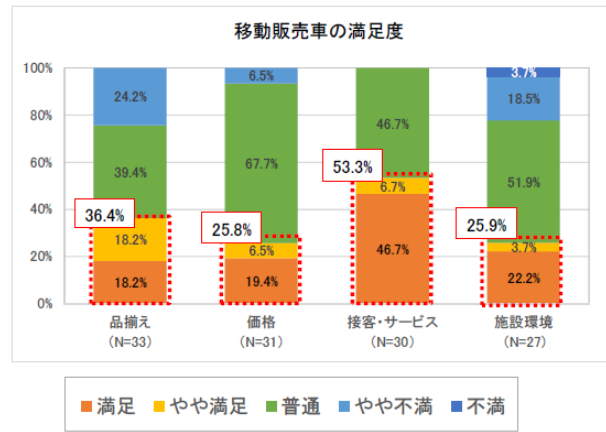
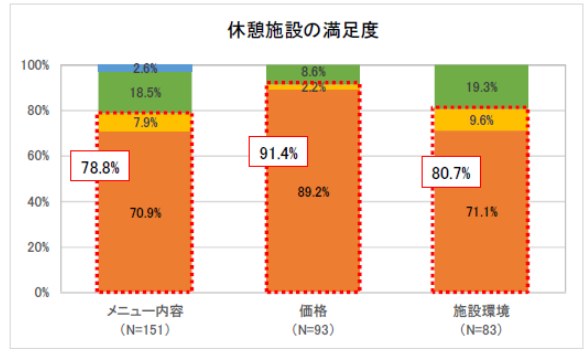


図-5 休憩施設、移動販売車の満足度

5. FSによって反映した検証項目

- ①利用者の7割が県内客であったことから、上りと下りにおける情報配信の差別化と効果
- ②PA内での集客イベント実施時の歩行者の安全確保対策(歩行者動線)と効果
- ③イベント開催時の駐車場容量の確保と効果
- ④荒川パーキングが、近隣集落の津波避難所となっていることから、認知度を高めるための仕掛けとその効果